信衆堂

創業 昭和十年

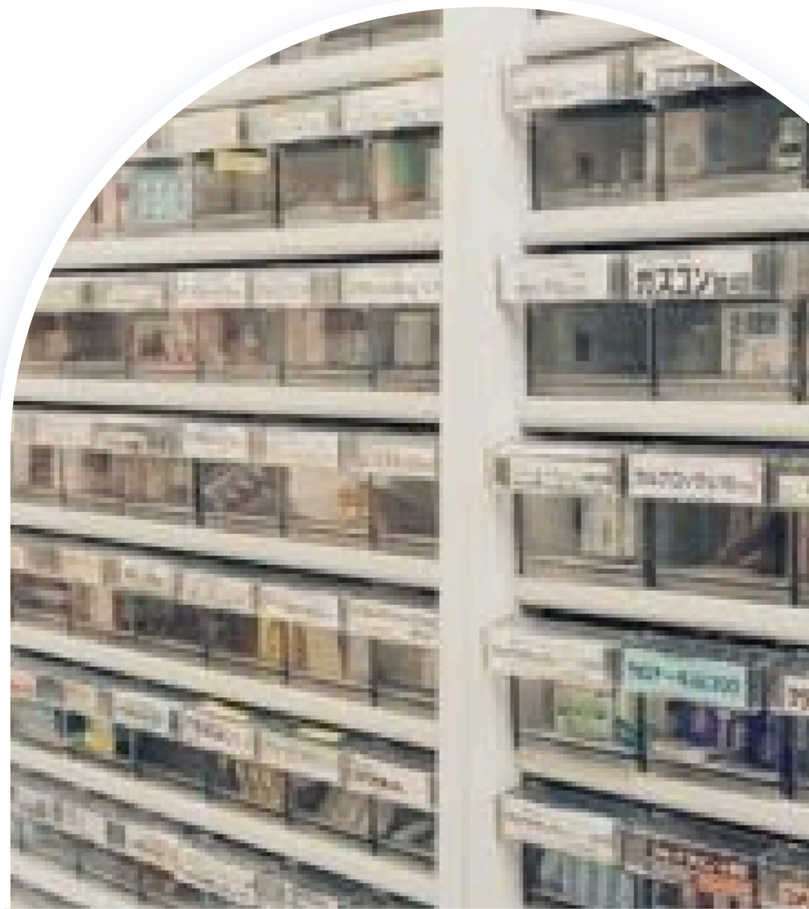
新人研修

信衆堂調剤薬局グループ

カリキュラム

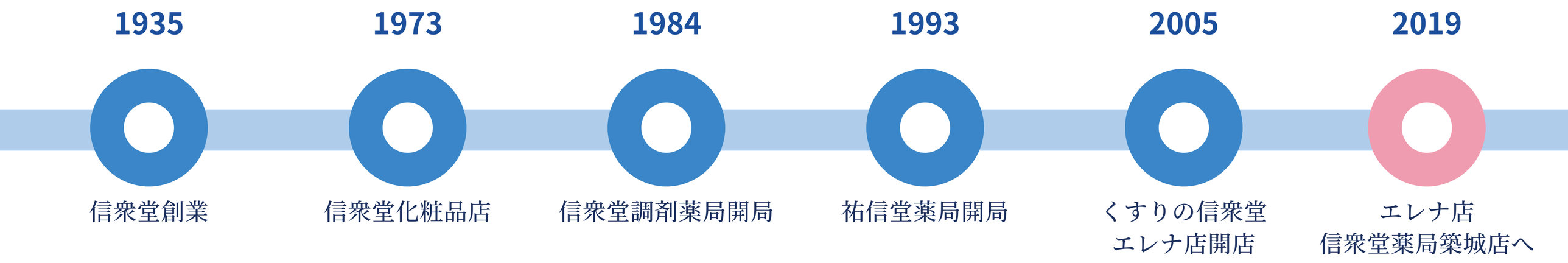
「目標をもって知識・技能を習得する事ができる薬剤師」

信衆堂グループの新人研修は、
このような薬剤師を目指すための
カリキュラムになっています。



信衆堂が目指す薬剤師像

- 患者さんとコミュニケーションを取ることが好きな薬剤師
- 薬を正しく飲んでいただき、早く良くなってもらおうと考える薬剤師
- 減薬に導くアドバイスができるよう頑張る薬剤師



成長基盤をつくる

01

研修の目的

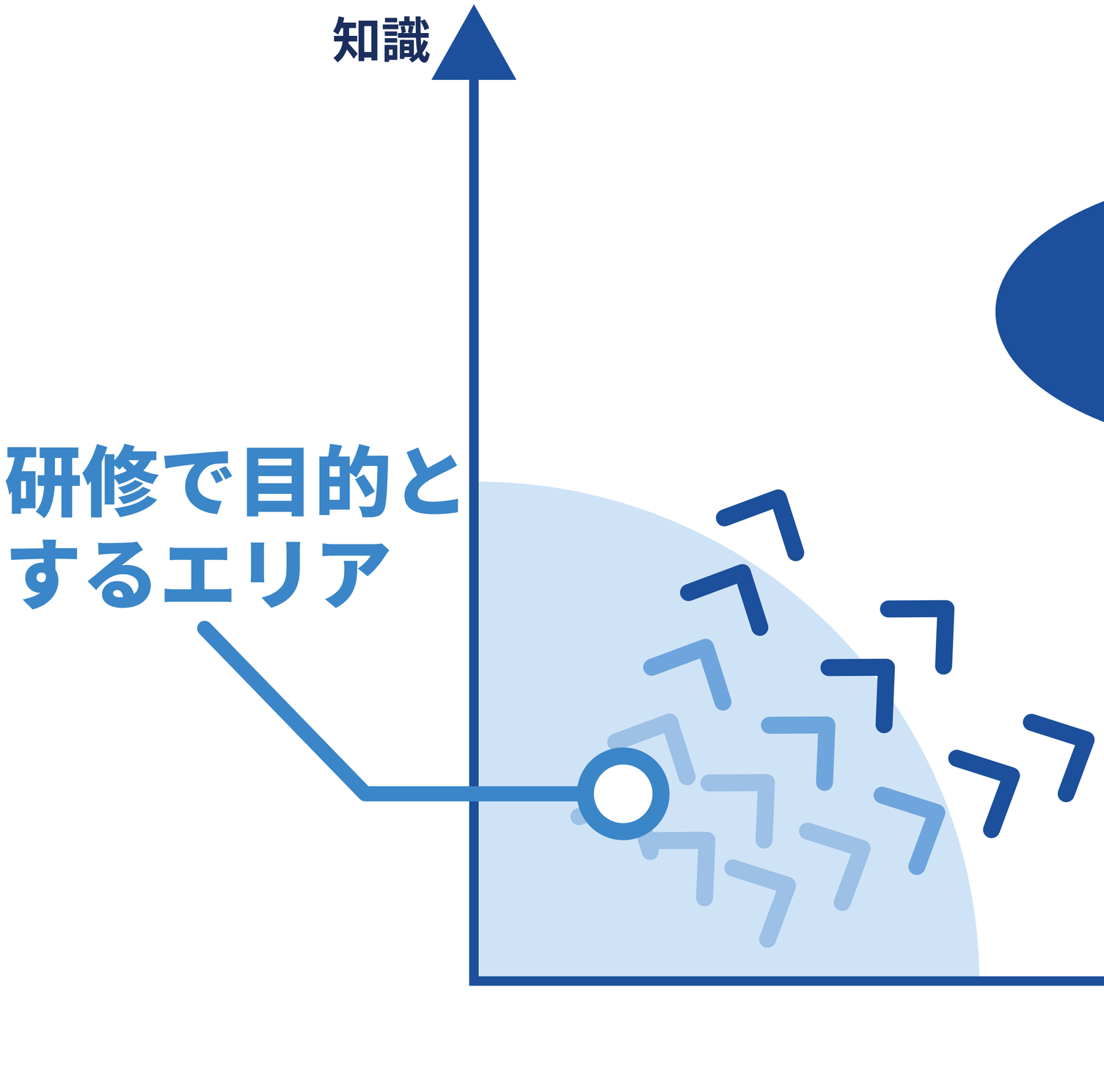
02

知識を得る

03

技能を深める

研修の目的



それぞれの
目標

目標は人それぞれ。
でも新人のうちは、
身につけるべき知識・技能に
重なる部分が多いはず。

信衆堂
創業 昭和十年

知識を得る

01

02

03

研修の目的

知識を得る

技能を深める

知識確認テスト

薬品名薬効テスト

（頻用３００品目）

薬品名→薬効がわかるように



疾患基礎テスト ベーシック

代表的な24疾患

選択式で基礎知識を確認

疾患基礎テスト ベーシック

第07回「抗血栓療法」 問題用紙より （1疾患 約50問）

択一 ワルファリンの作用として、正しいものはどれか。

ア　血小板の凝集を抑える
イ　ビタミンKに依存する凝固因子の合成を妨げる
ウ　トロンビンを直接阻害する
エ　血栓を溶かす

○× ワルファリン服用中でも、緑黄色野菜は一度に大量にとらず、毎日同じくらいの量であれば食べてよい。（　　）

患者さんへの回答 患者「ワルファリンを飲んでいますが、納豆が大好きです。少しならいいですか？」最も適切な説明はどれか。

ア　少量なら毎日食べても問題ない
イ　納豆は少量でもワルファリンの効果を数日弱めるため、食べないようにする。食べてしまったときは受診時に伝える
ウ　納豆を食べた日だけワルファリンを2倍にする
エ　ワルファリンの前に食べれば影響はない

技能を深める

01 02 03

研修の目的　知識を得る　技能を深める



技能週報チェック

週の業務の中でわからなかったこと、学んだことをまとめて報告する仕組み。その報告内容について指導薬剤師がコメントし、技能の更なる向上を目指す。

→ **情報の収集と提供をできる力を身につける**

信衆堂
創業 昭和十年

技能週報チェック

週報の成功例

きっかけ ― ワーファリン服用中の患者さんからの問い合わせ

「納豆は食べてはいけないといわれた。緑黄色野菜もよくないと聞いているけど、ほうれん草は全く食べれないの？」

01

新人の**知識不足**に気づく
＝ 週報のきっかけ

→

02

週報として**詳細に調べ**
手書きでまとめる

→

03

社内資料として
まとめ上げる

信衆堂
創業 昭和十年

週報の成功例

新人が手書きでまとめた週報

週　報　10月　　日　　名前　○○

わからなかったこと ワーファリンの患者さんに「納豆は食べてはいけないと言われた。ほうれん草は全く食べれないの？」と聞かれて、うまく答えられなかった…。

調べたこと ・ワーファリンはビタミンKの働きをじゃまして、血が固まりにくくする薬

・**納豆・クロレラ・青汁は少量でもNG！**

　納豆は納豆菌が腸の中でビタミンKを作ってしまう

・ほうれん草などの緑葉野菜は、大量にとりすぎなければ大丈夫

・ビタミンK 1日250μg以上を1週間続けると効果が弱まった報告あり

学んだこと 食品ごとのビタミンK量を一覧にした。これで説明できる！

指導薬剤師コメント

信衆堂
創業 昭和十年

週報の成功例

社内資料が完成

～ワーファリンと食品の関係～

- ワーファリンは**ビタミンKの作用を妨害**して血栓をできにくくする薬
- **避けるべき食品**：納豆・クロレラ・青汁
  → **少量でも避ける**。納豆は納豆菌が腸内でビタミンKを産生し、クロレラ・青汁はビタミンKが非常に多いため
- **注意が必要な食品**：ほうれん草・ブロッコリーなどの緑葉野菜（大量にとりすぎない）
- 大量とはどれくらい？
  → ビタミンK **1日250μg以上を1週間続けた**場合に効果が減弱したとの報告
- ビタミンK含有量一覧（100gあたり）を掲載

患者さんの疑問が

社内資料に
なった

週報で身につく力

情報の収集と
提供ができる力